発行　令和５年３月

研究レポート No.1083　岩手県農業研究センター

多収で省力的な促成栽培用いちご品種「恋みのり」

【１　成果の概要】

促成栽培用いちご品種「恋みのり」は、**商品果収量が多い**だけでなく、収穫・調整作業が**省力的な大果系品種**です。主な品種特性は、次のとおりです。

(1) **商品果収量**は「紅ほっぺ」と同程度で、**「さちのか」より 53%多く**なります。(表１)
(2) 規格外となる小果の割合が少なく、商品果率が高いため、**摘花を省略可能**です。(表１)
(3) 果実が大粒で、形の揃いが良いので、「紅ほっぺ」、「さちのか」と比較して、単位重量あたりの**収穫・調製時間を 17～27%削減**できます。(表２)
(4) **果実硬度**は「紅ほっぺ」より高く、**「さちのか」と同程度**です。(表３)

表１　株あたり収量及び商品果規格内訳

品種	商品果収量 (g/株)	商品果規格内訳(g/株)							規格外 (g/株)	商品果率 (果重 %)	商品果 1果重(g)
		3L	2L	L	M	S	A	B			
恋みのり	658.1	213.6	162.6	70.6	23.5	15.5	132.6	39.7	20.5	97.0	19.5
紅ほっぺ	651.4	85.2	147.2	91.7	42.5	31.7	195.3	57.8	54.9	92.2	16.5
さちのか	430.6	41.1	80.1	67.1	36.6	31.8	124.7	49.2	63.3	87.2	15.1

注 1）2019～2021 年定植作の 3 か年平均
注 2）商品果規格は岩手県青果物等標準出荷基準（いちご（女峰））に準ずる
規格 A、B は商品果のうち、品質・形状の劣るもの

表２　収穫・調製に係る単位重量あたりの作業時間

品種	収穫時間 (秒/kg)	調製時間 (秒/kg)	合計 (秒/kg)	紅ほっぺ 対比 (%)	さちのか 対比 (%)
恋みのり	248.9	247.1	496.0	82.8	72.8
紅ほっぺ	284.7	314.4	599.1	—	91.2
さちのか	326.1	331.0	657.1	109.7	—

注 1）1 畝（160 株）の収穫及び調製を 5 回行い、1kg あたりの作業時間を平均
注 2）調製は、重量・品質毎に規格分けし、パック詰めが終了するまでの時間

表３　果実特性

品種	糖度 (Brix%)	酸度(クエン酸換算%)	頂点硬度 (gr/6mmφ)	赤道部硬度 (gr/6mmφ)
恋みのり	8.4	0.40	634.8 a	607.0 a
紅ほっぺ	8.0	0.50	556.5 b	553.1 b
さちのか	8.6	0.50	677.7 a	594.1 ab

注 1）2019～2021 年定植作における 1 月～6 月調査の平均値

図１　果実外観

【２　留意事項】

(1) ハダニ類による被害を受けやすい傾向があるので、苗から本圃への持ち込みを防止するため、親株や育苗時点からほ場をよく観察し、早期防除を徹底します。
(2) 育苗～栽培期間中の過度の窒素不足により、芯止まりが発生する場合があります。
(3) 本品種の自家増殖を行う場合は、農研機構の許諾(無料)が必要です。

担当研究室　園芸技術研究部　南部園芸研究室
〒029-2206　陸前高田市米崎町字川崎 238-4　TEL. 0192-55-3733　FAX. 0192-55-2093